

平成22年度実施施策に係る実績評価書

(文部科学省22-11-1)

施策目標	子どもの体力の向上					
施策の概要	子どもの体力は、子どもたちが「生きる力」を身につけ、豊かな創造性・人間性をはぐんでいくとともに、生活習慣病の予防やストレスへの抵抗力など将来に亘っての健康の基盤を獲得するため必要不可欠であることから、長期的に低下傾向にある子どもの体力を、スポーツの振興を通じ、上昇傾向に転じさせることを目指す。このため、全国的な子どもの体力の状況を把握しつつ、学習指導要領の改訂を踏まえた学校体育教員の指導力向上や学校における運動環境の整備を図るとともに、調査結果や地域の実態を踏まえた学校・家庭・地域の連携による体力の向上のための取組の支援を推進。					
達成目標及び測定指標	達成目標(1)	子どもの体力の向上を目的として国、地方公共団体、学校等により実施される取組により、子どもたちの体力低下に歯止めをかけ、上昇傾向に転じさせる。				
	測定指標1	基準値	実績値(進捗状況)			目標値
		13年度	20年度	21年度	22年度(調査中)	22年度
	50m走(9歳男子)	9.84秒	9.65秒	9.62秒	-	9.40秒
	50m走(9歳女子)	10.04秒	9.93秒	9.96秒	-	9.74秒
	50m走(11歳男子)	9.03秒	8.88秒	8.9秒	-	8.75秒
	50m走(11歳女子)	9.26秒	9.23秒	9.23秒	-	9.00秒
	ソフトボール投げ(9歳男子)	21.52m	22.33m	22.55m	-	25.13m
	ソフトボール投げ(9歳女子)	12.72m	12.50m	12.87m	-	14.22m
	ソフトボール投げ(11歳男子)	29.94m	30.37m	30.57m	-	33.98m
	ソフトボール投げ(11歳女子)	17.26m	17.87m	17.82m	-	20.52m
	立ち幅とび(9歳男子)	146.85cm	147.1cm	146.15cm	-	158.53cm
	立ち幅とび(9歳女子)	138.03cm	138.7cm	137.27cm	-	147.30cm
	握力(9歳男子)	15.34kg	14.99kg	14.84kg	-	15.88kg
	握力(9歳女子)	14.17kg	13.96kg	14.01kg	-	14.70kg
	握力(11歳男子)	20.87kg	20.13kg	20.16kg	-	21.08kg
	握力(11歳女子)	19.96kg	19.97kg	19.89kg	-	20.49kg
	測定指標2	基準値	実績値(進捗状況)			目標値
		19年度	20年度	21年度	22年度	22年度
	「おやこ元気アップ事業」の参加者アンケートにおいて、今後子どもと一緒に運動したり、遊んだりするようにしたいと思うと答えた割合	90.0%	95.1%	95.3%	95.9%	100%
年度ごとの目標値		-	-	-		
達成目標(2)	学校における体育の授業の質の向上を図るため、学校体育担当教員に対する指導力向上のための研修を推進する。この効果を測るため以下の指標を設定し、子どもの体力向上指導者養成研修の受講者(教員)に対するアンケート結果から判断する。					
測定指標	基準値	実績値(進捗状況)			目標値	
	17年度	20年度	21年度	22年度	22年度	
子どもの体力向上指導者養成研修の受講者(教員)のうち、当該研修を有意義と答えた割合	98.8%	98.5%	98.7%	95.1%	100%	
年度ごとの目標値		-	-	-		
達成目標(3)	複数の学校でチームを編成する複数校合同運動部活動など他の学校や地域との連携等、中学校や高等学校において、運動部活動などを活性化する取り組みを推進する。					
測定指標	基準値	実績値(進捗状況)			目標値	
	17年度	20年度	21年度	22年度	毎年度	
中学生の運動部活動への参加率	71.0%	65.1%	64.9%	64.1%	現状維持	
高校生の運動部活動への参加率	36.0%	40.9%	40.7%	40.4%	現状維持	
年度ごとの目標値		-	-	-		

	達成目標(4)	地域のスポーツ指導者を体育の授業や運動部活動に積極的に活用する。				
	測定指標	基準値	実績値(進捗状況)			目標値
		15年度	20年度	21年度	22年度	毎年度
	中学校の運動部活動に対する外部指導者の活用人数	21,797人	28,394人	31,911人	30,578人	前年度比1,000~3,000人増
	年度ごとの目標値		-	-	-	
	達成目標(5)	学校体育を充実させる基盤として、学校プールや武道場など学校体育施設の整備を推進するため、以下の指標を設定し、判断する。				
測定指標	基準値	実績値(進捗状況)			目標値	
	17年度	20年度	21年度	22年度	22年度	
学校プールの整備率(%)	80.4%	80.9%	80.8%	80.7%	81.6%	
学校武道場の整備率(%)	59.3%	60.1%	60.5%	60.9%	60.2%	
年度ごとの目標値		-	-	-		
施策の予算額・執行額等 上段:単独施策に対応する経費 下段:複数施策に対応する経費	区分		21年度	22年度	23年度	24年度要求額
	予算の状況 (千円)	当初予算	1,719,413 <105,676,750>	1,195,181 <103,747,750>	1,075,781 <80,970,300>	1,364,768 <286,765,132>
		補正予算	△194,677 <264,724,355>	△21,663 <117,730,000>	0 <142,999,529>	
		繰越し等	0 <△52,206,136>	0 <196,699,665>		
		合計	1,524,736 <318,194,969>	1,173,518 <418,177,415>		
執行額(千円)		1,221,411 <308,917,597>	1,032,718 <404,589,748>			
施策に関する 内閣の重要政策	名称	年月日	関係部分(抜粋)			
	教育振興基本計画	平成20年7月1日	基本的方向2 ◎生涯にわたって積極的にスポーツに親しむ習慣や意欲、能力を育成→長期的に低下傾向にある子どもの体力を上昇傾向に転じさせ、昭和60年頃の水準への回復を目指します			
施策に関する 内閣の重要政策	新健康フロンティア戦略賢人会議 「新健康フロンティア戦略」	平成19年4月18日	9. 運動・スポーツの振興(スポーツ力) 運動やスポーツは、体を動かすという人間の本源的な欲求にこたえたとともに、体力の向上や、ストレスの発散、生活習慣病の予防など、心身の両面にわたる健康の保持増進に役立つものである。特に、高齢化の急激な進展や、体を動かす機会の減少が指摘されている現代社会においては、幼年期から一生涯を通じて運動・スポーツに親しむことは、健康寿命の延伸を図る上でも重要である。 (1)外遊びやスポーツを通じた子どもの体力の向上 ①積極的に外遊びやスポーツに親しむ習慣や意欲の育成 ・体育授業や運動部活動の充実 ・走る・跳ぶなどの基本動作を習得するためのプログラムづくり ・子どもの体力について、国民意識の一層の喚起			
	【評価】					
施策に関する評価結果	【必要性の観点】 子どもの体力は、体力水準の高かった昭和60年頃から長期的に低下傾向にある。体力の低下は、運動面・精神面など、子どもが「生きる力」を身につけ、豊かな創造性・人間性をはぐくんでいく上で、悪影響を及ぼすものである。また、将来的には国民全体の体力の低下につながり、生活習慣病の増加やストレスに対する抵抗力の低下など健康に不安を抱える人々が増え、ひいては社会全体の活力が失われるなど社会全体にとっても無視できない問題である。このことから、子どもの体力向上については「教育振興基本計画」(平成20年7月1日閣議決定)においてその重要性が示されたほか、「新健康フロンティア戦略」(平成19年4月18日新健康フロンティア戦略賢人会議決定)においても「外遊びやスポーツを通じた子どもの体力向上」の重要性が示されている。このため、国が地方公共団体や各関連機関・団体における体力向上に向けた組織的、継続的な取組の実施を支援する必要性は高い。					

【有効性の観点】

「おやこ元気アップ事業」の参加者アンケートにおいて、今後子どもと一緒に運動したり、遊んだりするようにしたいとした割合が上昇するなど、施策による一定の効果が見られた。しかし一方で、「平成21年度体力・運動能力調査報告書」の走・跳・投にかかる各種目において、一部向上している指標はあるものの、横ばいまたは低下傾向を示す指標がみられるなど、各達成目標の測定指標に照らして十分な進捗が得られていないところがあることから、今後、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」による分析等により現状を見直し、より効果的な施策の立案・推進を行うことが課題である。

【効率性の観点】

《インプット》

子どもの体力の向上に必要な経費 1,173百万円(平成22年度予算)

(内訳)

子どもの体力向上に向けた調査研究 137百万円

子どもの体力向上支援事業 145百万円

子どもの体力向上啓発事業 267百万円

地域スポーツ人材を活用した運動部活動等推進事業 301百万円

中学校武道必修化に向けた地域連携指導実践校 260百万円

中学校・高等学校スポーツ活動振興事業 63百万円

《アウトプット》

本事業の実施により、以下のような結果となった。

1. 「平成21年度体力・運動能力調査」において、一部向上している指標はあるものの、横ばいまたは低下傾向を示す指標がみられた。

2. 「おやこ元気アップ事業」の参加者アンケートにおいて、今後子どもと一緒に遊んだりするようにしたいと思うと答えた割合が22年度95.9%と高い数値を示した。

3. 運動部活動の参加率や外部指導者の活用人数、プールや武道場の整備率については、横ばい、又は低下傾向が見られた。

《アウトカム》

各種事業を通じて、各関係機関等における子どもの体力向上のための自主的な取組を支援することにより、子どもの体力向上に向けた社会的機運が醸成された。また、教員の指導力の向上、体を動かす場や機会の確保、学校体育施設の整備などを行い、運動部活動をはじめとした学校体育を通じて、子どもたちに体を動かす楽しさや喜びを味わわせ、日常的にも自ら進んで運動やスポーツに親しむ資質や能力を育成することができ、子どもの体力向上につながった。一方で、低下傾向を示す指標があったことから、施策の効率性について見直しを図る必要がある。

【評価結果を踏まえた今後の課題】

各達成目標の測定指標に照らして、例えば「平成21年度体力・運動能力調査報告書」の走・跳・投にかかる各種目において横ばい又は低下傾向が見られるなど、十分な進捗が得られていない指標が見られ、また、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」により、運動をほとんどしない層の存在や地域間格差、生活習慣・授業の工夫と体力水準の関連等の実態が新たに判明しつつあることから、調査結果の分析・評価等により、効果的な施策をさらに立案・推進していくことが課題である。

【事業仕分け、行政事業レビューの指摘】

○行政事業レビュー(平成23年9月)

<一部改善>

子どもの体力向上に向けた調査研究、子どもの体力向上支援事業、子どもの体力向上啓発事業、地域スポーツ人材を活用した運動部活動等推進事業

<現状通り>

中学校・高等学校スポーツ活動振興事業

【施策への反映】

達成目標(1)

子どもの体力向上を図るため、これまでの調査結果を踏まえ、子どもの全国的な体力の状況等の更なる調査・分析を行う。また、調査・分析の結果を反映した、実践的かつ地域の特性を活かした運動習慣や生活習慣等の改善を図るモデル事業を引き続き実施する。

達成目標(2)

学校における体育の授業の質の向上を図るため、平成20年3月及び平成21年3月に改訂された学習指導要領の内容を踏まえた研修を行い、教員の実技研修の機会を確保する。

達成目標(3)

運動部活動等の活性化を図るため、複数校合同運動部活動等の様々な取組について、地域のスポーツクラブ等との連携を図る実践研究を行い、新しい形態による運動部活動の取組を促進する。

達成目標(4)

学校体育活動の充実に資する地域のスポーツ人材の積極的な活用を図るため、体育の授業や運動部活動における外部指導者活用の実践研究等を引き続き実施する。

達成目標(5)

平成24年度概算要求においては、引き続き、学校体育施設の整備に必要な所要額の確保に努める。

有識者会議での指摘事項

<p>指標に用いたデータ・資料等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省「平成21年度体力・運動能力調査」(作成:文部科学省、平成22年10月) →http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/tairyoku/1266260.htm ・文部科学省委託事業「おやこ元気アップ事業」実施報告書(作成:文部科学省、平成23年3月) →http://www.recreation.or.jp/kodomo/genkiup/index.html ・子どもの体力向上指導者養成研修の受講者アンケート(作成:文部科学省、各年3月) ・「中学生の運動部活動への参加率」(作成:公益財団法人日本中学校体育連盟「加盟校・加盟生徒数調査」、文部科学省「学校基本調査」より推計、平成23年4月)(基準時点又は対象期間:「加盟校・加盟生徒数調査」各年6月、「学校基本調査」各年5月)(所在:公益財団法人日本中学校体育連盟、文部科学省) →http://www18.ocn.ne.jp/~njpa/kameikou.html ・「高校生の運動部活動への参加率」(作成:「加盟状況」財団法人全国高等学校体育連盟調べ、「加盟校部員数」財団法人日本高等学校野球連盟調べ、文部科学省「学校基本調査」より推計、平成23年4月)(基準時点又は対象期間:「加盟状況」各年8月、「加盟校部員数」各年5月、「学校基本調査」各年5月)(所在:財団法人全国高等学校体育連盟、財団法人日本高等学校野球連盟、文部科学省) →http://www.zen-koutairen.com/f_regist.html →http://www.jhbf.or.jp/data/statistical/index_koushiki.html ・公益財団法人日本中学校体育連盟「加盟校・加盟生徒数調査」(作成:公益財団法人日本中学校体育連盟)(公表時期:各年9月)(基準時点又は対象期間:各年6月) →http://www18.ocn.ne.jp/~njpa/kameikou.html ・文部科学省「学校体育施設設置状況調査」
<p>主管課(課長名)</p>	<p>スポーツ・青少年局体育参事官(長登 健)</p>
<p>関係局課(課長名)</p>	<p>スポーツ・青少年局スポーツ・青少年企画課長(今里 譲)</p>